

記事を読んで、問いに答えましょう。

2021年6月30日朝刊中部版

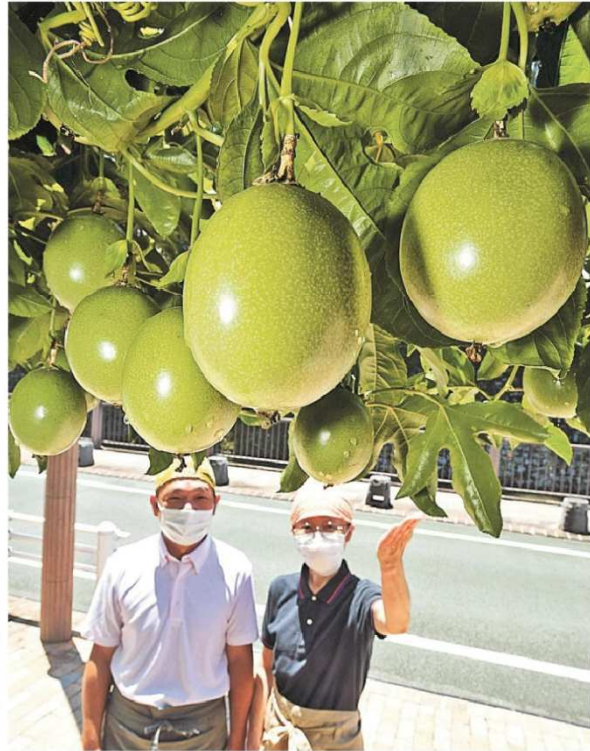
静岡市葵区城内町の甘味処
(かんみどころ)「沢木屋」
の軒先で亜熱帯原産の植物
「パッションフルーツ」がた
わわに実を付け、道行く人た
ちを驚かせている。

今年4月下旬から開
花が始まり、人工授粉で結実
を促した。6月29日現在、直
径8〜10センチの緑色の未熟果が
500個以上付いた。

沢木さんは「今までで一番
多く実った。これからの成長
が楽しみ」と笑顔。早い実は
7月上旬に赤紫色に熟すとい
う。同店では収穫した果実を

葵区の甘味処「成長楽しみ」

パッションフルーツ たわわに



軒先にたわわに実るパッションフルーツ＝静岡市葵区城内町

使ったかき氷の販売を予定す
る。

(写真部・坂本豊)

①記事中で、「パッションフルーツ」の説明が書かれている部分に線を引きましょう。

②緑色の実は熟すとどんな色になりますか。()

③「パッションフルーツ」のどんな様子が道行く人たちを驚かせていますか。

()

④記事の見出しには工夫があります。どんな工夫か30字以内で書きましょう(句読点を含みます)。

年 組 名前

作問者：静岡新聞NIEコーディネーター 矢沢和宏

(小学校高学年～中学校／理科、総合)

記事を読んで、問いに答えましょう。

解答例

2021年6月30日朝刊中部版

静岡市葵区城内町の甘味処「かんみどころ」。「沢木屋」の軒先で亜熱帯原産の植物「パッションフルーツ」がたわわに実を付け、道行く人たちを驚かせている。

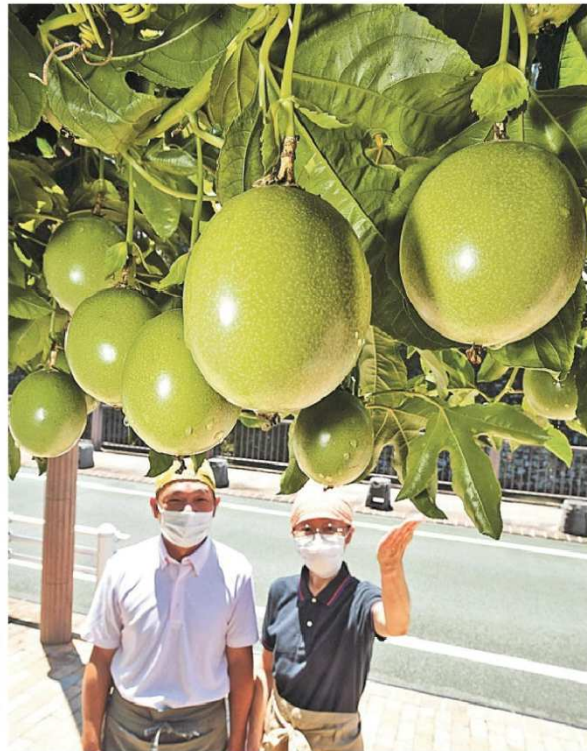
熱帯果樹の栽培が趣味という店主の沢木俊克さん(62)が7年前から、日よけのグリーンカーテンを兼ねて育成して

葵区の甘味処「成長楽しみ」

いる。今季は4月下旬から開花が始まり、人工授粉で結実を促した。6月29日現在、直径8〜10センチの緑色の未熟果が500個以上付いた。

沢木さんは「今までで一番多く実った。これからの成長が楽しみ」と笑顔。早い実は7月上旬に赤紫色に熟すという。同店では収穫した果実を

パッションフルーツ たわわに



軒先にたわわに実るパッションフルーツ＝静岡市葵区城内町

使ったかき氷の販売を予定する。

パッションフルーツは、時計の文字盤のような花の形から「クダモノトケイソウ」とも呼ばれるアメリカ大陸亜熱帯地域原産の多年草。さわやかな香りと甘酸っぱい味の果肉が特徴で、菓子やジュースの材料として中南米や東南アジアなどで広く栽培されている。

(写真部・坂本豊)

- ①記事中で、「パッションフルーツ」の説明が書かれている部分に線を引きましょう。
- ②緑色の実は熟すとどんな色になりますか。(**赤紫色**)
- ③「パッションフルーツ」のどんな様子が道行く人たちを驚かせていますか。
(**(例)500個以上の実がたわわに実っている様子**
軒下に緑色の未熟果が500個以上も垂れ下がっている様子 など)
- ④記事の見出しには工夫があります。どんな工夫か30字以内で書きましょう(句読点を含みます)。
(例)見出しの背景がパッションフルーツの実の形を表している。(27字)
パッションフルーツの実の形が背景で、白抜き文字を使っている。(30字) など

年 組 名前